

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会 芦北支部

J A あしきたがイチゴ育苗に初挑戦

J A あしきたでは、平成27年度に県内で初めて農業経営に参入し、18aのハウスでイチゴ高設栽培を開始しました。28年度には、ハウス18aを増設して栽培面積を36aまで拡大し、併せて、2月から土・日・祝日限定で観光農園も開園しました。

29年度からは、コスト面も考慮して、購入苗から自家育苗に切替え、年間を通したイチゴ栽培に取り組んでいます。品種は、観光農園としてのラインナップ充実のためこれまでの、「ゆうべに」、「さがほのか」に加え、新たに「紅ほっぺ」追加しました。

芦北支部では、熊本県野菜振興協会「いちご技術部会」からの情報を参考に、スケジュール管理や病虫害防除等の指導を実施し、9月末までに定植を完了しました。

さらに、11月上旬から「野菜産地育成実証展示ほ事業」を活用し、ハダニ天敵導入によるIPM展示ほを設置する予定です。

今後も、基本技術の向上と併せて、観光農園を意識した減農薬の取組みとして、天敵利用技術の普及を進めていきます。



育苗ほ場の様子



定植の様子